

解説

百年史編集室では発足以来、百年史編集を目的としてさまざまな作業が行われてきた。その作業の結果は記録され、編集室会議等に配布され、活用されてきた。今回、それらの中からいくつかを選び、紀要に収録することによって、編集活動の一端を示してみたい。

収録したのは左記の七つの資料である。

- 一、百年史編集室会議等各年度配布資料総目録目次
 - 二、百年史編集室図書分類表
 - 三、ファイルリスト
 - 四、百年史編集室名簿
 - 五、百年史編集室関係規則等
 - 六、「東京大学史紀要」彙報にみる百年史編集室の資料調査収集活動年表
 - 七、『東京大学百年史』資料一～三収録資料出典総覧
- 次に、収録した各資料について、以下、若干の説明を加えておこう。

一、百年史編集室会議各年度配布資料総目録目次

百年史編集室では、各種会議の際に配布される会議資料は日付順に綴りこんでいる。このうち昭和四十九年については百年史編集委員会および同小委員会の、昭和五十年以降については百年史編集室会議の会議資料を各年度毎にまとめ、毎年度末に「×年度配布資料総目録(次)」を作成して室員に配布してきた。この総目録は内容別に毎年いくつかの大綱目に分類して目次を付してきたが、今回収録するのはこの目次の部分に収録資料点類を加筆したものである。原資料は百年史編集室の横野紙に手書きした、簡単なものである。百年史編集作業の時間的変化を分類項目の変化に見ることも出来るかと思われる。

二、百年史編集室図書分類表

昭和五十一年頃から考案、採用された本室独自の分類表である。これはその目的として「東京大学百年史の編集を進める上で最も便利となること」を基本に考案された。これらは個別の「東京大学」のところに別のものをはめれば他大学等でも応用できるのではないだろうか。但し個人文書等刊本でないものはこの分類表を適用せず、各々独立名称下に整理、目録化が行われてきている。なお、本分類表の考案作成は狐塚裕子が担当したものである。(本号シリーズⅡ、「百年史編集室と私」中狐塚裕子「あの頃のこと」参照)

三、ファイルリスト

この名称はひどく一般的な響きだが、本室の特徴的資料群(主に刊本のコピーおよび、それに付随するメモ)のひとつである。百年史の編集・執筆等の際にいろいろなテーマによる資料探索・調査が行われたが、そうした各テーマ毎に収集した資料をフラットファイルに綴り、一カ所に集中したもののリストである。ファイルは作成順に番号を付したのみで、検索の点では不便となっている。内容も出典表示が必ずしも十分であるとは限らない。

四、百年史編集室名簿

昭和五十年四月の発足以来、百年史編集室の仕事に関わったメンバーを大きく専門委員、室員、短期アルバイトの三群に分けて五十音順にリストアップした。但し記録が乏しく一部は記憶にたよっているので、遺漏もあるかと思われる。作成は昭和六十一年三月、野口貴代が担当した。

五、百年史編集室関係規則等

ここには左の四つの規則等の他、その参考資料として「東京大学百年史編集史料保存に関する懇談会答申」を収録した。

- 1 百年史編集委員会規則
 - 2 東京大学百年史編集室要項
 - 3 東京大学百年史編集室資料閲覧内規
 - 4 東京大学史料の保存に関する委員会規則
 - 5 東京大学百年史編集室史料保存に関する懇談会答申
- 1と2は「東京大学百年史」の編集の企画がまとめられた昭和四十九年五月

二十一日付で施行され、今日もなおこれらに基づいて百年史編集室は運営されている。3は、昭和五十年四月百年史編集室発足後ほどなく、百年史編集室の資・史料の閲覧要求が相次いだため、統一的な対応を行うために定められた内規で、昭和五十一年七月日付で施行がきめられた。4は昭和六十一年十月十四日の評議会を経て施行されたもので、百年史編集室の閉室を意識してそこに集められた資・史料の取扱いを検討することを目的としている。この点、百年史の編集を目的に据えている先の1と3とは異なるが、百年史の延長線上のものであることは明らかであろう。また、5は1と3と4をつなぐ事情を示しているので収録した。

六、『東京大学史紀要』彙報にみる百年史編集室の資料調査収集活動年表。文字通り本紀要1と6号所載の彙報欄中より、資料収集、調査活動に関わる項目を抽出し、日付順にならべたものである。なお、彙報に所載の事項はいずれも「東京大学百年史編集室会議記事要旨」および同「作業報告」に拠っている。本表は昭和六十一年十二月、小川千代子が作成した。

七、『東京大学百年史』資料1と3収録資料出典総覧
 『東京大学百年史』(資料1と3)にはそれぞれ巻末に「本巻依拠資料目録」を付している。各資料の番号は本編中収録順となっており、しかも各巻毎に収録資料の分量も依拠資料も異なるので、「資料」1と3の全巻にわたる依拠資料一覧表は作成できなかった。今後『東京大学百年史』の補遺および索引などの出版が幸いに行えるならば、本総覧は更に依拠資料索引へと発展していくであろう。今回はこうした補遺・索引編の差当りの提案を兼ね、「百年史」がその資料全三巻を編みに当たり依拠した資料の全容をここに掲げてみた。

(中野 実)

一、百年史編集室会議等各年度配布資料総目次

昭和四十九年度	7
I 東京大学百年史編集委員会小委員会議事要旨(案)	
II 東京大学百年史編集委員会議事要旨(案)	3
III 委員会議題について	2
IV 百年史編集内容	5
V 予算	2
昭和五十年年度	11
I 編集室会議題	
II 編集室会議録	2
III 編集委員会議録	3
IV 編集委員会議題	3
V 小委員会要旨	8
VI 小委員会議題	4
VII 打合せ会要旨及び議題	8
VIII 百年史編集方針案	5
IX 百年史構成案	4
X 作業報告	4
XI 東大百年史要綱案	13
XII 部局史について	8
XIII 編集関係(編集予定等)	17
XIV 参考資料(学内 学外資料)に関するもの	21
XV 名簿	6
XVI その他(予算展示会等)	14

昭和五十一年度

- I 評議会記録関係
- II 評議会記録議題目録関係
- III 評議会議事報告一覧表
- IV 評議会関係・雑
- V 庶務部資料関係
- VI 内田祥三文書関係
- VII 雑資料 リスト・表 その他
- VIII 会議資料
- IX その他

点数

4 17 14 2 6 14 9 34 2

昭和五十二年度

- I 会議録
- II 室会議議題
- III 作業報告資料
- IV 雑資料
- V 予算・編集計画等
- VI 評議会記録議題目録および同表
- VII 紀要について
- VIII 目次案について
- IX 内田文書より
- X 平賀文書
- XI 加藤文書
- XII 評議会をめぐる各種委員会
- XIII 学外資料目録等

点数

14 14 5 2 14 21 5 10 4 2 1 2 7 11

昭和五十三年度

- I 百年史編集室会議議題および作業報告

点数

11

特集・百年史編集をふりかえる

昭和五十四年度

- II 百年史編集室会議要旨
- III 予算・編集計画等
- IV 編集室の運営等に関して
- V 目次案について
- VI 評議会記録議題目録および議題表
- VII 「通史編」執筆に関して
- VIII 統計・グラフ、表など「資料編」に関するもの
- IX 部局史関係
- X その他の配布資料

昭和五十五年度

- I 百年史編集室会議議題及び作業報告
- II 百年史編集室会議要旨
- III 百年史編集関係
- IV 学内資料
- V 学外資料
- VI 編集室運営等に関して
- VII その他

昭和五十六年度

- I 百年史編集室会議議題及び作業報告
- II 百年史編集室会議要旨
- III 百年史編集関係——実務
- IV 百年史編集関係——内容
- V 学内資料
- VI 学外資料
- VII 編集室運営等について
- VIII その他

11

10

5

6

4

9

5

2

9

5

2

9

5

2

4

9

5

3

3

3

2

4

7

5

8

5

13

10

10

10

11

11

9

9

9

3

3

2

4

昭和五十六年度

I	百年史編集室会議及び作業報告	11	点数
II	百年史編集室会議要旨	11	
III	通史編原稿執筆進捗状況	8	
IV	通史編原稿執筆分担一覧	2	
V	通史編目次各種訂正及び変更・改定	6	
VI	執筆上の統一について	3	
VII	各種調査報告	2	
VIII	東京大学史紀要	2	
IX	各種資料及び資料目録	4	
X	新大学制実施準備委員会関係	2	
XI	百年史資料編関係	3	
XII	部局史関係	1	
XIII	校訂作業進捗状況	1	
XIV	大学制度審議会関係	2	
XV	東京大学百年史編集関係	3	
XVI	その他	12	
昭和五十七年度			
I	会議録	11	点数
II	室会議議題	11	
III	作業報告資料	10	
IV	雑資料	3	
V	編集計画	3	
VI	配布資料総目録	2	
VII	通史編の進捗状況について	19	
VIII	東京大学史史料目録	2	
IX	資料編の進捗状況について	2	

X	小池行松氏旧蔵思想取締関係文書	2
XI	坪井九馬三関係文書	1
XII	その他	11

昭和五十八年度

I	百年史編集室会議議題及び作業報告	7	点数
II	百年史編集室会議要旨	7	
III	通史編原稿執筆進捗状況	5	
IV	通史編編集関係	7	
V	資料編編集関係	13	
VI	部局史関係	1	
VII	紀要関係	1	
VIII	各種資料	7	
IX	その他	6	

昭和五十九～六十年年度

I	百年史編集室会議議題	4	点数
II	百年史編集室会議要旨	4	
III	作業報告	4	
IV	各種資料	5	
V	通史編関係	5	
VI	資料編関係	6	
VII	年表	3	
VIII	室員関係	4	

二、百年史編集室図書分類表

百年史編集室図書分類表

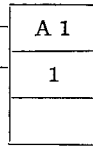
凡例

本の種類

著者 (G3 については主人公の頭文字)

冊

(例)



東大発行/歴史

1 段目・F9 は F0 (総記) と F1 (双書) の他すべての本である。

・ E についてはみ著者で分類している。

2 段目・C、D については各学校機関名の頭文字

・ E、F については受け入れ順に番号をふっている。

・ G3 は、自伝は著者、その他は書かれている人の頭文字を入れる。伝記、自伝だけでなく追憶集、記録等すべてを含む。

1 段目・A と B の違いについて

A 東京大学自身が発行したもの

B 直接東大という名前で発行されていない東大に関する本

・ B8 は東大に関する本

・ B9 は B8 以外のもの

・ 登録図書 グリーンラベル

・ 寄贈図書 赤ラベル

・ 一般 (雑誌類)

特集・百年史編集をふりかえる

東京大学百年史編集室図書分類表 1 段目

	A 東京大学	B 東大関係	C 他大学	D 諸機関	E 官庁関係
0	目録, 規則, 総記 年報	総記, 規則, 年報		総記, 日録	文部省
1	歴史	歴史	歴史 (国立)	歴史	調査局, 教育調査部
2	概要, 要覧, 一覧	概要, 要覧	〃 (公立)		普通学務局, 初等中等教育局
3	便覧		〃 (私立)		大学学術局, 大学入試センター, 専門学務局
4	名簿	名簿			社会教育局, 国民局
5	住所録	住所録	概要, 一覧, 便覧		教学部, 学生部, 思想局, 教学局
6					
7	調査, 資料	調査, 資料	調査, 資料	調査, 資料	地方自治体
8		東大に関するもの	外国大学		
9	その他, 地図	その他	その他 (旧制高等学校, 紀要)	その他	その他, 衆議院事務局, 憲政記念館

1 段目 (続き)

	F 教育関係	G 一般	H その他	R 辞典	Z 公文録	I アーカイブ 外国図書
0	総記, 辞典, 目録	総記, 目録, 資料年表	総記	総記, 目録		
1	全集, 叢書	個人全集	写真集, 図説	百科辞典		
2		日記	雑誌	科学系		
3		個人資料, 伝記, 記録, 追想		人文系		
4		随筆				
5		一般, 人文社会系				
6		科学系				
7						
8	教科書					
9	その他	その他	その他, 地図			

2 段目

	A 東京大学	B 東大関係		A 東京大学	B 東大関係
0	東京大学		11	大学院 (研究科)	
1	法学部	抱 撰 学 校	12	附 属 研 究 所	
2	医	サ ー ク ル	13	総 合 図 書 館	
3	工	同 窓 会	14	共 同 利 用 施 設	
4	文	生 協	15	事 務 局, 学 生 部	
5	理	東 大 新 聞			
6	農		C	アルファベット	
7	経		D	〃	
8	教 養	各 部 局	E	受 入 順	
9	教 育	そ の 他	F	{受 入 順 アルファベット	
10	薬		G	アルファベット	

(カードはアイウエオ配列)

三、ファイリリスト

- 一 長谷川修一関係
- 二 藤吉日出男関係
- 三 山崎三郎関係
- 四 長崎憲之関係
- 五 拓植芳男関係
- 六 加藤橋夫関係
- 七 丁字尚関係
- 八 鶴田酒造雄関係
- 九 茅誠可氏関係
- 一〇 ききとり斯波義慧氏
- 一一 二宮永蔵氏ききとり
- 一二 ききとり進路小一郎氏
- 一三 ききとり大室貞一郎氏
- 一四 林健太郎関係
- 一五 矢内原忠雄全集 月報より
- 一六 平賀家文書目録
- 一七 平賀讓文書関係
- 一八 内田祥三文書関係
- 一九 外山正文書関係
- 二〇 加藤弘之文書関係
- 二一 井上哲次郎日記
- 二二 浜尾新資料
- 二三 渡辺洪基文書関係
- 二四 歴代総長及びその遺族連絡先リスト
- 二五 部局史関係
- 二六 頌徳表(稿)
- 二七 那須皓先生聴取り昭和五十一年六月十日実施 農学部

特集・百年史編集をふりかえる

- 六 学生異動報告
- 七 配属将校関係 自昭和十年
- 八 昭和十(十六)年度入学者ニ関スル調査報告
- 九 学校卒業生ノ使用制限ニ関スル法規其他印刷物
- 一〇 昭和二十一年度復員庁関係
- 一一 第七十一次引揚学徒転校措置
- 一二 ポポロ事件
- 一三 昭和五十二年入学式 昭和五十二年四月十一日
- 一四 昭和五十二年四月 年度はじめ各種挨拶
- 一五 東京大学百年記念式典
- 一六 「百年」記念式典
- 一七 「百年」反対のピラ
- 一八 切りぬき帳 百年史編集室
- 一九 葵文庫 沼津市歴史民俗資料(料)館
- 二〇 著書調所関係複写文獻類
- 二一 司法省法学校関係 利谷信義・磯野誠一
- 二二 昌平黌関係資料
- 二三 昌平学科名録 附人名索引
- 二四 京大事務局保存文書(部外秘扱い)
- 二五 京大大学概覽 昭和二十二年総説部分
- 二六 京大保存文書
- 二七 「北大百年史」編集情報
- 二八 斯波 草稿Ⅰ
- 二九 斯波 借用資料 茶封筒入
- 三〇 斯波 草稿Ⅱ
- 三一 中央公論目録
- 三二 放送文化財保存目録(NHK)、一九七一、一九七五
- 三三 東京大学予備門関係史料(総図)
- 三四 卒業生の動向

- 五 経済と学校教育 論文コピー
- 六 予備門関係論文 昭51教育史学会
- 七 明治十年代における東京大学の「自治」にかんする一研究 寺崎昌男
(無題、論文コピー二点入)
- 八 J・A・ユイング資料
- 九 一ツ橋から赤門へ 田中館愛橋
- 一〇 帝国大学令制定に関する木場貞長氏の追憶談筆記 昭和六年六月
- 一一 加太邦憲自歴譜(後半)
- 一二 加太邦憲自歴譜(前半)
- 一三 明治文化資料叢書 第八卷 教育編(下)
- 一四 明治文化資料叢書 第八卷 教育編(上)
- 一五 札幌農學 第一年報(明治十一年)複製版
- 一六 札幌農學 第一年報(明治十一年)複製版
- 一七 高根義人執筆『内外論叢』所収論文
- 一八 『思想』総目次・索引(No.1~5000)(No.5001~6000)大10・
一〇〇~昭和四十九・六
- 一九 科学史年表 二編
- 二〇 日本地質学会史六〇周年記念(一九五三・三)
- 二一 南北朝正閏問題に関する「史料」の資料(明四十五・三・三十)
- 二二 明治初年医学部記録(複写) 大久保編(昭十)
- 二三 東京帝国大学学術大観 昭五十二・十一)
- 二四 大正新大学令 昭五十二・十一
- 二五 各部署分類記号表
- 二六 百年史展示会関係
- 二七 百年史研究会関係
- 二八 印刷関係
- 二九 総合年表原稿 明治十・十一
〃 十六・十七
- 三〇 年表基本カード
- 三一 略年表(五十一・二)草稿・資料
- 三二 構内商人関係 学生部厚生課
- 三三 講座表 第一次表に加筆訂正等
- 三四 草創期の東京大学 目録 茶封筒入
- 三五 テレホンサービス S 44
- 三六 工部大学校関係論文
- 三七 浜口雄幸と伊沢多喜男 三高入学までのサイコヒストリイ
- 三八 日本科学技術史大系(別巻) 概説、総目次
- 三九 〃 年表
- 四〇 科学史手帳 日本科学技術史大系(附録)
- 四一 東京大学総合図書館 展示会目録、パンフ等
- 四二 帝国大学制
- 四三 大学における教育、研究体制の現状 国立大学の講座単位としての「講座制」について(東大の事例)
- 四四 南原繁資料
- 四五 帝国大学赤門由来
- 四六 大学制度改正私見
- 四七 小野塚喜平次
- 四八 東書文庫所蔵 東大関係
- 四九 浜尾新
- 五〇 平泉澄氏
- 五一 松平文庫目録
- 五二 旭光三〇年抜粹
- 五三 岡田良平関係文書
- 五四 憲政資料目録(三条実美、井上馨)
- 五五 保存書庫内の文書
- 五六 学習院 創立一〇〇年記念品等(文鎮など)
- 五七 真野文二関係
- 五八 吉田朋吉関係
- 五九 日本及日本人

- 一三 東洋学芸雑誌 総目次 第一巻ノ第百九十九巻
- 一四 古賀逸策著作目録
- 一五 於玉ヶ池種痘所(加島光三氏ファイル)
- 一六 昭十七年帝大新聞学部長会議
- 一七 岩波『教育』京大事件
- 一八 古市公威の偉さ
- 一九 用瀬松太郎関係
- 二〇 東北大学庶務、記念資料室 昭五四・六・一二〜一三
- 二一 大学教育法改善案 附エリオット教授四十年間の経験 成瀬仁蔵
- 二二 工学部元教官、文化勲章授章者 文化功労者履歴
- 二三 護国寺 昭五四 No.二六 美術手帖 一九七九、八 尾崎氏
- 二四 伊藤公憲法調査の概略
- 二五 木下利玄関係
- 二六 旧制第一高等学校 入寮関係書類
- 二七 地域社会と東京大学
- 二八 駒場農学校―札幌農学校
- 二九 東京英語学校予備門ヨリ札幌農学校入学生徒履歴
- 三〇 東京大学予備門長杉浦重剛ノ大学予備門革正ノ義ニ付キ意見書
- 三一 古在由直
- 三二 赤門の勢力及人物系統 今田猛象(日本及日本人)
- 三三 東京帝国大学 予算関係資料目録
- 三四 自伝抄 人生のエピローグ 佐藤朔
- 三五 海外留学生表
- 三六 熊本県近代文化功労者 故人横井時敬 昭四九年度顕彰
- 三七 戦時下(昭一二〜一六)の大学 瓜生忠生他
- 三八 思ひ出の儘 佐藤昌介 中央公論 昭八年七月号
- 三九 早稲田田圃の頃 市島春城 〃 昭八年八月号
- 四〇 百年史提供資料関係
- 四一 社会経済史学(社会経済史学会) Vol.46、No.五、一九八一

特集・百年史編集をふりかえる

- 一三 アジビラ類 '72、'73 前期I
- 一四 〃 〃 〃 前期II
- 一五 〃 〃 '73 後期I
- 一六 高橋是清調査
- 一七 昭和二十六年度の東京大学
- 一八 朝河遺品コレクション
- 一九 広瀬次郎関係
- 二〇 〃 欠番
- 二一 週刊新潮 昭三六(一九六一)十二月二十五日号
- 二二 お玉ヶ池種痘所
- 二三 鷗戸口英善氏
- 二四 F・W・ストレンジ考(渡辺融、体育学紀要七、十号)
- 二五 明治期の横浜における外国人スポーツクラブの活動と日本のスポーツ
- 二六 大学史の編纂とその課題(三田評論 一九七六、四月号)昭五七(一九八二)一月五日
- 二七 修学年数の戦時短縮等について 文部省大臣官房人事課給与班
- 二八 ④矢内原問題の経過概要 大内兵衛
- 二九 「歴史と地理」通号二八二号(日本史の研究一〇四号)一九七九、三月、通号二八五号(日本史の研究一〇五号)一九七九、六月
- 三〇 「歴史と地理」二七〇号 一九七八、三年
- 三一 二七六号 三冊 一九七八、九月
- 三二 三二六号 一九八一、十二月
- 三三 一高側より見た駒場移転の件(一高同窓会会報抜粋)
- 三四 震災予防調査会報告第一号・第二号(抜粋)
- 三五 石川千代松履歴書
- 三六 朝河貫一関係図震災復興 八点
- 三七 春獄公記念文庫 名土墨跡・書翰
- 三八 加越能文庫(本郷加賀屋敷関係) 金沢市立図書館
- 三九 本科学生数表 明治十九〜大正一

- 一六 伊藤公全集 第一、二、三卷 目次
- 一七 伊藤公全集 第一卷、第二卷(上半) 教育等
- 一八 伊藤公全集 第二卷(下半)、第三卷 教育等
- 一九 アルバム関係 東京大学の百年 一八七七～一九七七
- 二〇 庶務部庶務課 保存資料 昭和五十一年頃の調査
- 二一 山上会議所
- 二二 松中直吉関係
- 二三 国学院法学 第二〇卷 第三号
- 二四 官報発行百年
- 二五 林内殖林制度に関する研究 有永明人
- 二六 ハラタマと日本の化学 芝哲夫
- 二七 南原繁先生の追憶 福武直
- 二八 開成所役員上申書写(明治元年)全(川勝練太郎家文書)
- 二九 大木喬任文書
- 三〇 旧幕府公議所について(一)(二)(三)(四) 亀掛川博正
- 三一 大隈文書 官庁関係 A2『工部院建置之議』
- 三二 『』 A455『工部省ヲ設クルノ旨』
- 三三 史学会小史 創立五十年記念
- 三四 予研創立当時を回顧して(予研学友会報 Vol.5, No.3, pp.1~18 一九六四) 柳沢謙
- 三五 筑作佳吉と Anton Dohn (磯野直秀) ナポリ臨海実験所との三〇年(中絶栄三)
- 三六 「動物学雑誌」物語(一)~(三)、動物学会の最初の十年(一、二) 磯野直秀
- 三七 エドワード、シルヴェスター・モース——その在日中の足跡をたどる—— 磯野直秀
- 三八 慶心義塾大学の誕生 ハーバード大学よりの新資料
- 三九 出陣学徒と第九交響楽——昭和十九年八月六日、法文二五番教室にて

- 一〇 戦後教育年鑑 財団法人野間教育研究所、日本教育史研究部門
- 一一 関東大震災関係 大学罹災の日を顧みて 他 三点
- 一二 東大新聞の社説「論説」昭二四・二〇昭三一・二
- 一三 明治十六年事件関係新聞記事集
- 一四 東京大学新聞記事名書抜(昭和三一、三二、三六、三七、三九、四一、四二年度)
- 一五 私の履歴書 向坊隆
- 一六 医学図書館(展示室・研究室) 所蔵資料調査報告
- 一七 大河内正敏博士
- 一八 特集東京大学(秀才たちが日本を暗くする) 日経ビジネス
- 一九 女の戦後史 ⑭ 男女共学 永畑道子 朝日ジャーナル 一九八三、六、二四
- 二〇 東京帝国大学婦人聴講生関係 婦女新聞
- 二一 憲法と私たち 岩波新書 憲法問題研究会
- 二二 戦後教育資料 IV 大学制度関係 学術会議より抜粋 マイクロ焼付
- 二三 東京大学医学部一覽 明治一三〜一四
- 二四 教養学部よりの進学状況調 昭和二十六〜五十二
- 二五 小橋一太講義ノート
- 二六 姉崎正治——震災時の図書館長
- 二七 東京大学昭和二十五年新制第一学年入学者選抜要項
- 二八 大学資料四〇、四一〜四六(赤背表紙)
- 二九 大学資料四七〜六三 (")
- 三〇 大学資料六四・六五〜六六 (")
- 三一 東大広報委員会「資料」(赤背表紙)
- 三二 評議会配布資料 四四・六〜四五・二 (")
- 三三 評議会配布資料 四四〜四九 (")
- 三四 評議会配布資料 (")
- 三五 東京開成学校一覽より生徒姓名抜粋コピー M8&9 五/一六
- 三六 学生部と学生委員会一件書類

- 三七 東京大学概要
- 三八 一覽、要覽中の地図表
- 三九 黒川真頼関係文書

- 三〇 東京大学明治十四年職制制定関係資料

- 三一 東大百年史（通史）教員の記述について（調）

- 三二 蔵書数について

- 三三 駒場農学校資料

- 三四 地震研新聞記事

- 三五 海軍考査規則

- 三六 東大百年史編纂委員会（稻垣所蔵）

- 三七 代紳（写）二冊

- 三八 東京帝国大学卒業生姓名（一覽コピー）T七―八―S二―三

- 三九 東京帝国大学卒業生姓名（一覽コピー）S四―一七

- 四〇 東京都公文書館見学

- 四一 アメリカ研究資料センター 目錄類

- 四二 牧野文書教育関係資料目錄

- 四三 コックスについて

四、百年史編集室名簿

昭和六十一年三月現在

室長・専門委員

伊藤 隆 専門委員五十・四

稲垣 栄三 専門委員五十・四

笠原 一男 室長五十・四、五十二・三

酒井 豊 アルバイト五十・二、五十・三、専任室員五十・四、五十・六・三、執筆員五十六・四、五十七・四、専門委員五十七・五

土田 直鎮 室長五十七・四、五十八・四

寺崎 昌男 専門委員五十・十、五十八・四、室長五十八・四

仲 新 専門委員五十・四、五十一・三

益田 宗 専門委員五十・四

護 雅夫 専門委員五十・四

室員・執筆員

池田 祐子 室員五十二・四、五十四・三

梅澤 ふみ子 室員五十一・四、五十四・三、執筆員五十四・四、六十・三

小川 千代子 専任室員五十・四

小 熊 伸一 アルバイト五十二・二、三、室員五十七・四

梶田 明宏 室員五十九・四、六十一・五

加藤 莢子 室員五十・四、五十二・三

北川 恵美子 室員五十四・九、五十六・七

狐塚 裕子 アルバイト五十二・十、五十二・三、室員五十二・四、五十六・三、執筆員五十七・四

古屋野 素材 室員五十二・四、六十三

斎藤 由紀子 室員五十四・四、五十四・八

柴崎 力栄 室員五十四・四、六十一・三

清水康幸 室員五十六・四〇六十・三、執筆員六十・四〇

新谷恭明 室員五十四・四〇五十七・三、執筆員五十七・四〇

季武嘉也 室員五十四・四〇六十・三、執筆員六十・四〇

館 昭 室員五十一・四〇五十三・三、執筆員五十三・四〇

田辺久子 室員五十六・七〇六十一・三

照沼康孝 アルバイト五十二・三、室員五十二・四〇五十八・九、執筆員五十八・十

中野 実 室員五十三・四〇五十六・三、専任室員五十六・四〇

羽田貴史 執筆員五十四・四〇

前田一男 室員五十六・四〇、アルバイト五十四・八〇六十一・五

三谷 博 室員五十六・四〇五十一・三、五十二・四〇五十三・五、執筆員五十三・六〇

山口元子 アルバイト五十四・二〇五十六・八、室員五十六・九〇

米田俊彦 アルバイト六十・五〇六十一・十

アルバイト

有山智子 五十七・四〇五十八・三

伊藤みちる 五十・十〇十一

尾高照美 五十七・二〇五十七・八

大野 仁 五十四・三

荻山幸子 五十八・四〇五

小佐野陽子 五十六・二〇三

小田 さゆり 五十五・二〇三

川上好美 五十八・七〇六十・四

黒井キヌ 五十六・十二〇五十七・八

古川陽子 五十七・九

坂本 由美子 五十七中

新粥啓子 五十六・四〇五十九・三

薄 久代 六十・七〇六十一・三

田中佳夫 五十四・三

角田明美 五十六・七〇九

鶴田美加子 五十八・三〇五十九・三

殿岡滋子 五十六・十二〇五十七・二

西岡史恵 五十五・三〇五十六・三

野口貴代 五十八・十

長谷川 郁子 六十・十〇六十一・三

深谷 裕美 五十三・十二〇五十四・三

藤原三枝子 五十三・四〇五十四・三

前川育子 五十五・三〇五十六・六

森 桂子 五十七・九〇十一

山口 稔雄 五十二・二〇三、五十四・二〇五十五・三

山下 真理子 五十三・十二〇五十四・四

山田 夕起子 五十七・十〇五十九・三

山根 千晶 五十六・七〇五九

五、百年史編集室関係諸規則等

1. 東京大学百年史編集委員会規則

(設置)

第一条 東京大学創立百年記念事業委員会の特別委員会として、東京大学百年史編集委員会(以下「編集委員会」という。)を置く。

(任務)

第二条 編集委員会は、東京大学百年史の編集のため、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 編集の基本方針及び実施に関すること。
- (2) 資料の収集及び保存に関すること。
- (3) 各部局との連絡及び調整に関すること。
- (4) その他必要な事項。

(組織)

第三条 編集委員会は、委員長、副委員長及び委員若干名をもって組織する。

(委員長)

第四条 委員長は、教授のうちから総長が委嘱する。

二 委員長は、委員会を招集し、その議長となるとともに、委員会の事務を総括する。

三 委員長は、第七条に定める東京大学百年史編集室の長を兼ねるものとする。

(副委員長)

第五条 副委員長は、委員のうちから総長が委嘱する。

二 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

(委員)

第六条 委員は、次の各号に掲げる者に総長が委嘱する。

(1) 総長補佐のうちから一名

(2) 各学部及び各附置研究所から推薦された教授又は助教教授各一名

(3) 附属図書館長

(4) 編集委員会委員長が必要と認めたる者

(5) 事務局の各部長及び学生部次長

二 前項第二号及び第四号の委員の任期は、二年とする。ただし、再任を妨げない。

(東京大学百年史編集室)

第七条 東京大学百年史の編集及び資料収集を行うため、編集委員会に東京大学百年史編集室を置く。

二 東京大学百年史編集室については、別に定める。

(部局編集委員会)

第八条 東京大学百年史のうち各部局にかかる事項の編纂を行うため、各部局に部局編集委員会を置くものとする。

二 部局編集委員会については、各部局の定めるところによる。

(専門委員会)

第九条 特定の事項について調査・研究するため、編集委員会に専門委員会を

特集・百年史編集をふりかえる

置くことができる。

二 専門委員会の組織及び運営については、編集委員会の定めるところによる。

(編集委員会への協力)

第十条 各部局は、東京大学百年史編集に必要な資料の収集に関して、編集委員会に協力するものとする。

(庶務)

第十一条 編集委員会の庶務は、事務局庶務部において処理する。

(補則)

第十二条 この規則に定めるもののほか、編集委員会の運営に関し必要な事項は、編集委員会の定めるところによる。

附則

この規則は、昭和四十九年五月二十一日から施行する。

了解事項

一 第六条第一項第四号の委員及び第九条の専門委員会委員には、名誉教授その他本学教職員以外の者を加えることができる。

二 この規則で「部局」とは、学部、附置研究所、附属図書館、事務局、学生部、学内共同教育研究施設、大型計算機センター及び保健センターをいう。

三 第六条第一項第二号の委員は、部局編集委員会委員長を兼ねることが望ましい。

四 部局編集委員会を置かない部局には、部局連絡員を置くものとする。

2. 東京大学百年史編集室要項

一 東京大学百年史編集委員会(以下「編集委員会」という。)に東京大学百年史編集室(以下「編集室」という。)を置く。

二 編集室は、東京大学百年史の編集のため、次の各号に掲げる事項を行う。

(1) 編集及び執筆に関すること。ただし、部局にかかる事項を除く。

(2) 資料の収集及び整理に関すること。

(3) 各部局との連絡及び調整に関すること。

(4) その他必要な事項。

三 編集室長は、編集委員会委員長をもってあてる。

四 編集室に執筆委員及び編集室員若干名を置き、東京大学創立百年記念事業委員会委員長が委嘱する。

五 編集室の庶務は、事務局庶務部広報企画課において処理する。

六 この要項に定めるもののほか、編集室の運営に関して必要な事項は、編集室長の定めるところによる。

附則

この要項は、昭和四十九年五月二十一日から実施する。

3. 東京大学百年史編集室資料閲覧内規

第一条 東京大学百年史編集室（以下「編集室」という。）が所蔵し、保管している資料又は図書（以下「資料」という。）を東京大学百年史編集室員（以下「室員」という。）以外の者が閲覧しようとするときは、この内規に定めるところによる。

第二条 資料の閲覧をすることのできる者は、次の各号に掲げる者とする。

(1) 東京大学百年史の編集又は執筆を行う者で、部局編集委員会委員長又は室員の紹介のある者

(2) 前号に掲げる者のほか、東京大学百年史編集室長（以下「室長」という。）が閲覧を許可した者

第三条 資料を閲覧しようとする者は、室員に身分を証明するものを提示し、編集室に備付けの閲覧簿に所定の事項を記入しなければならない。

第四条 閲覧室の資料は、自由に閲覧することができる。ただし、次の各号に定める資料の閲覧は、あらかじめ室長の許可を受けなければならない。

(1) 編集室が借入れた資料

(2) 編集室に寄託された資料

(3) 未整理資料及び東京大学百年史稿本

(4) 前各号に定めるもののほか、室長が貴重資料と認定したもの

第五条 編集室の業務に支障があるとき、又は室長が不相当と認める理由があ

るときは、資料の閲覧を断ることがある。

第六条 資料は、閲覧室で閲覧するものとし、閲覧室からの帯出は原則として認めない。

第七条 資料の閲覧は、原則として毎週火曜日及び金曜日の午後一時三十分から午後四時三十分までとする。

二 前項の規定にかかわらず、室長が必要と認めるときは、閲覧の曜日又は時間を変更することができる。

第八条 閲覧者が資料を滅失、き損又は汚損したときは、閲覧を停止するとともに、弁償を求めることがある。

附則

この内規は、昭和五十一年七月二十日から施行する。

4. 東京大学史料の保存に関する委員会規則

(設置)

第一条 東京大学に、東京大学史料の保存に関する委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(任務)

第二条 委員会は、東京大学（以下「本学」という。）に蓄積された史料の保存、活用の方針を策定し、あわせて史料の所蔵調査を行うため、次の各号に掲げる事項を審議することを任務とする。

(1) 史料の保存及び活用の基本方針に関すること。

(2) 本学公文書の所蔵調査に関すること。

(3) 本学にかかわる史料収集の方策に関すること。

(組織)

第三条 委員会は、委員長及び委員若干名をもって組織する。

(委員長)

第四条 委員長は、本学教授のうちから総長が委嘱する。

二 委員長は、委員会を代表し、会務を総括する。

三 委員長に事故あるときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を

代理する。

(委員)

第五条 委員は、次の各号に掲げる者に総長が委嘱する。

(1) 各学部から推薦された教授又は助教授 各一名

(2) 人文・社会科学系の附置研究所及び自然科学系の附置研究所から推薦された教授又は助教授 各一名

(3) 附属図書館長及び事務局長

(4) 総長補佐のうちから一名

(5) 前各号に定めるもののほか、総長が必要と認めた本学教職員

(委員長及び委員の任期)

第六条 委員長並びに前条第一号、第二号及び第五号の委員の任期は、二年とする。ただし、再任を妨げない。

二 補欠の委員長及び委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(専門委員会)

第七条 特定の事項について調査、研究するため、委員会に専門委員会を置くことができる。

二 専門委員会の組織及び運営については、委員会の定めるところによる。

(幹事)

第八条 委員会に委員会の業務を処理するため、幹事を置く。

二 幹事は、本学教職員のうちから総長が委嘱する。

(庶務)

第九条 委員会の庶務は、事務局庶務部広報企画課において処理する。

(補則)

第十条 この規則に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会の定めるところによる。

附 則

この規則は、昭和六十一年十月十四日から施行する。

制 定 理 由

東京大学百年史編集委員会が収集・保存している数千点の学術資料、沿革文

書、遺品などの史料の保存、利用等の方針を策定し、あわせて今後の史料収集のための調査を行き委員会を設置するため、この規則を制定しようとするものである。

5. 東京大学百年史編集史料保存に関する懇談会答申

昭和六十年三月、百年史編集室専門委員会から平野総長あて「東京大学史料センター(仮称)設置の提案」が提出され、史料センター設立の将来構想が提案されました。次いで同年十月、同じく専門委員会から「東京大学百年史編集室史料の措置について」が森総長あて提出され、百年史編史後の史料の措置について懇談会を設けられたい旨が提案されました。

本懇談会は森総長の意向を承けて、昭和六十年十一月十三日以来二回の会合をもち表記の問題を中心として検討して参りましたが、以下のような結論を得ましたので御報告いたします。

東京大学百年史編纂事業は昭和六十二年三月をもってすべての作業を終了し、同編集室を閉じる予定であるが、それに伴ない、これまでに同編集室に委託された数千点の関連史料の保存等、早急に然るべき措置を講じなければならぬ問題がいくつか生ずる。このことに関連して、昭和六十年三月、百年史編集室専門委員会から「東京大学史料センター(仮称)設置の提案」が提出された。この提案の骨子は、

(1) 本学の非現用公文書類や議事録、あるいは上述の寄託史料等の東京大学沿革史料、ならびに本学教官による研究成果および研究資料、以上の資料(Documents)の収集、整理、保存、活用を目的とするセンター(学内共同利用施設)の設立。

(2) このセンターは大学図書館(university archives)の性格をもち、上記資料の保存・管理と併行して、大学史研究、大学学術史研究を行いうる施設であること。

という内容であった。本懇談会はこの university archives 設立の構想を基本

的に支持し、これの具体的実現のための方策について検討を重ねた。現在の段階で考えうる方向として二案があるが、同時にこれの実現までにある程度の時間を要することも予想されるので、百年史編集室閉室後、恒久的機構が発足するまでの過渡的期間に採られるべき暫定措置についても検討した。以下にその過渡的措置を含む三案を掲げる。

Ⅰ 百年史編集室閉室後ただちに講じなければならない措置

現在、百年史編集室の専任教官ならびに職員として、助手一名、東京大学創立百年記念事業後援会からの出向職員一名がおり、施設として大講堂五、六、七階、約三三一㎡を使用している。昭和六十二年三月までに予定されている「東京大学百年史」十巻の編集・刊行を終了するがなお残務として次の仕事がある。

(イ) 「東京大学百年史」の補遺・索引編の編集・刊行

(ロ) 既に寄託された資料の整理と保管

このほか同編集室がこれまで行ってきた次の仕事も中断せずに続行することが内外から要請されている。

(ハ) 将来寄託される資料の受け入れ、保管

(ニ) 東京大学における非現用公文書類の受け入れ、整理

(ホ) 東京大学に関する各種資料、データの提供

(ヘ) 東京大学関係者に関する学術情報の提供

また将来の「史料センター」的機関の準備としては、次のような仕事も進めていくことが必要とみられる。

(ト) 「東京大学史紀要」「東京大学史史料目録」の編集、刊行

(チ) 大学文書館 (university archives) に関する調査、研究

以上の仕事を遂行する態勢を確保しておくことが、六十二年以降必要である。そのために何等かの学内措置によって、次のような方策がとられることを提案する。

(A) 学内に「東京大学史料保存に関する委員会(仮称)」が設けられること。

(B) 編集室解散後、これを「東京大学史料室(仮称)」として再組織し、上記

委員会の下に、当面の史料保存、整理、利用にあたること。

(C) 上記史料室には少なくとも現行規模の専任者定員と施設面積をそのまま維持する方法を講ずること。

Ⅱ 一、「東京大学国際学術交流センター」構想のなかに「史料センター」の機能を収容する案

「東京大学国際学術交流センター」案のなかに文献資料の収集と情報の整理提供を行うための組織として、「日本比較研究情報室」と「国際交流情報室」を設け、両者を似せて基幹部門一をあてるという構想がある(「東京大学国際学術交流センター骨子(案)」昭和六十年十二月九日付)。この二つの情報室の機能、任務、仕事の形態は「大学史料センター」のそれと類似することが予想されるので、この二情報室と併列する組織として「大学史研究情報室(仮称)」を同基幹部門のなかに設置することが考えられよう。「日本比較研究情報室」の内部に含めることも考えられなくはないが、その場合「大学史料センター」が本来持つべき機能が損われることのないよう配慮することが必要である。

Ⅱ 二、独立した「東京大学史料センター」設立案

大講堂利用計画懇談会による昭和五十九年一月二十四日付答申によると、講堂部分(三、四階)の修復整備を行うとともに、一、二階については大学文書館(university archives)に当てるのが最もふさわしいとしている。前述した「東京大学史料センター」設意の提案もまた、大学を象徴する歴史的施設としての大講堂にこのセンターを置くことが性格上最も望ましいことを述べている。大講堂利用計画懇談会答申も指摘しているように、これの実現のためには学生部・保健センター等すべての現機能の移転の完了をまたねばならず、実現までの障害は大きいといえよう。しかし現在の利用状況はなお暫定的であることとを免れず、大講堂の恒久的利用と活性化のための計画立案とその段階的実現は焦眉の急であると考える。大講堂を増改築して、象徴性を失うことなく、その講堂を学会、国際会議、その他各種の集会にあてると共に、一部に東京大学史料センターを設置して展示、保管、研究の機能をもたせる形で再生することとは、決して過大な構想ではないであらう。

六、『東京大学史紀要』一〜六号彙報にみる資料収集調査
活動年表

年	月	日	記 事
昭和 五十	六	一	史料編纂所「渡辺洪基文書」調査
	八	一	附属図書館「五十年史料」調査、借用
	八	一	庶務部資料調査
	十	十一	加藤弘之文書の寄託
	七	二十八	渡辺洪基目録完成
	十一	一	附属図書館「外山正一関係文書」調査開始
	十二	八	石井昂氏聞き取り
	五十一	一	平賀譲遺族宅訪問、調査
	二	二十八	石井昂氏聞き取り
	三	十五	石井昂氏聞き取り
	四	一	東京(帝國)大学新聞バックナンバ―所在調査 六、六月
四	一	平賀譲遺族宅訪問、調査	
四	五	石井昂氏聞き取り	
五	八	井上哲次郎文書寄託	
五	二十	内田祥三所蔵文書の引取り	
七	一	施設部写真調査〜十月	
七	八	鶴田酒造雄氏聞き取り	
七	十四	井上哲次郎文書寄託	
十	一	石井昂氏聞き取り	
十	四	斯波義慧氏聞き取り	
十	二十五	石井昂氏聞き取り	
十	三十	二宮永蔵氏聞き取り	
一	一	室員による「勉強会」始まる	
三	十八	石井昂氏聞き取り	
五十二			

年	月	日	記 事
昭和五十二	三	二十九	扇一登氏聞き取り
	五	四	三浦高義氏聞き取り(三浦伊八郎氏長男)
	五	二十一	南享二氏聞き取り
	五	二十一	未広恭雄氏聞き取り
	七	二十九	若林勲氏聞き取り
	二	一	法・工・文・理・各学部の教授会記録調査
	二	一	医学部医学資料室保存史料調査
	二	一	工・建築学科図書室所蔵図書調査
	二	一	教育学部書庫内東京高校事務部史料調査
	二	一	「東京大学史紀要」創刊
	四	十三	石井昂氏の著書寄贈
	五	八	斯波義慧氏聞き取り
	五	八	京都大学保存資料の調査〜十日迄
	五	九	田辺朔郎関係資料調査
	五	十八	静岡県立中央図書館葵文庫資料調査
	五	十九	沼津市立駿河図書館沼津文庫資料調査
	五	十九	沼津市歴史民俗資料館資料調査
	六	十二	茅誠司氏聞き取り
	七	十三	加藤弘之文書の寄託
	八	二	茅誠司氏聞き取り
	十	一	山県佐兵衛商店所蔵アルバム調査〜十一月
十	九	宮内庁書陵部資料調査	
十	二十五	筑波大学附属図書館資料調査	
十一	十四	東京書籍株式会社東書文庫資料調査	
十一	十六	大学基準協会資料調査	
十一	二十五	平泉澄氏聞き取り〜二十六日	
十一	二十八	福井市郷土歴史資料館資料調査	
十二	十二	蠟山長治郎筆の法科大学講義録の寄託	
二	十四	真野僚一氏聞き取り(文二氏の孫)	
二	二十八	馬場みつ氏聞き取り(吉田朋吉氏三女)	
五十三			
五十四			

年	月	日	記 事
昭和五十四	三	一	工学院大学に工部大学校旧蔵資料調査依頼 四月
	三	一	国立公文書館、国会図書館所蔵本学関係資料 調査、複写継続中
	四	一	東京都公文書館所蔵公文書予備調査
	四	十七	古賀逸策氏聞き取り
	四	二十四	三神美代子氏聞き取り(石黒五十二氏二女)
	五	八	京都大学所蔵戦時体制・戦後処理資料調査、 複写
	五	九	京都・田辺家にて田辺朔郎関係資料調査
	五	二十六	用瀬松太郎氏関係資料調査
	六	十九	古賀逸策氏聞き取り
	七	二十六	九州工業大学史料館の訪問
	十	一	鶴見求馬氏関係資料の寄贈
	十一	六	石川県立郷土資料館の調査(八日)
	十一	七	金沢大学の調査(八日)
	十一	八	金沢市立図書館
	十一	八	石川県立図書館
	十一	九	福井市立郷土歴史博物館春岳公記念文庫調査 (十日)
	十二	一	宮内庁書陵部所蔵大学関係資料調査、複写
	十二	十一	高橋是清関係資料調査、多磨靈園管理事務所 にて
五十五	三	一	井上梧陰文庫調査
	四	一	国内国公私立大学に対しアーカイヴズのアン ケート調査
	五	一	外国大学アーカイヴズ概要調査実施(七月)
	六	一	医学部所蔵資料調査、複写
	七	二十二	福井市立郷土歴史博物館、春岳文庫調査
	七	二十二	金沢市立図書館江戸前田藩邸図面調査、複写
	八	二十二	北海道大学百年史編集室訪問、調査(二十二 日)

年	月	日	記 事
昭和五十五	八	一	教養学部所蔵資料調査、複写(十月 三上参次氏談話記録(談旧会)草稿を借用、 複写)
	八	一	学生部より資料一部回収
	七	一	第三高等学校同窓会所蔵史料調査、複写(十 二月)
	七	一	医学部解剖学教室標本室調査
	十一	一	国会図書館主催『議会開設九十年記念議政 治展示会』見学、於憲政記念館
	十二	一	京都三高会館、京都大学教養部、大阪大学訪 問、調査
五十六	一	二十八	旧職員原武福治氏聞き取り、会計制度につ いて
	一	一	宮内庁宮務課にて調査
	二	一	旧職員原武福治氏聞き取り、会計制度につ いて
	六	一	村上健三氏より村上専精関係資料を借用
	六	一	佐藤ひさ氏より『佐藤寛次伝』他寄贈
	七	一	元満習林事務長伊藤清氏聞き取り
	七	十三	京都大学事務局訪問、調査(十六日 長与又郎日記借用、複写)
	七	一	学生部所蔵資料調査
	八	一	入学主幹室所蔵資料調査
	九	一	国際主幹室所蔵資料調査
	九	一	事務局関係資料保管場所に関する概略調査
	七	一	国立公文書館『貴重資料展』見学
	七	一	名誉教授鶴戸口英善氏聞き取り
	七	一	小池行松氏旧蔵思想取締関係図書・資料、寄 託
	十一	二十四	同志社社史史料編集所訪問、調査
	十一	二十五	京都陽明文庫訪問
	十一	二十六	京都国立博物館訪問

年	月	日	記事
昭和五十六	十一	一	旧職員原武福治氏聞き取り、会計制度について
			東京大学関係諸資料の保存と利用に関する予備的研究五十六年度一八〇万円助成
			戦後教育改革関係聞き取りテープ等（文部省旧職員）借用
			大内兵衛『矢内原問題の経過概要』借用、複写（大河内暁男経済学部長教授より）
五十七	一	一	写真資料の収集・整理作業に着手
			順天堂大学山崎文庫訪問、調査
			憲政記念館第五回憲政史特別展見学
			各国大学アーカイヴに関する聞き取り（十月）
			浜松医科大学加藤誠之助氏聞き取り
			『東京大学関係諸資料の保存と利用に関する予備的研究』中間報告書提出
			元営繕課長拓植芳男氏聞き取り
			元文学部長坪井九馬三の日記等旧蔵史料調査、保管
			医、工理、教育、史料各部署事務室保存資料概略調査
			国立公文書館『明治事はじめ』展』見学
			『国会図書館所蔵個人文庫展—西欧学術の追求』見学
			東京大学関係諸資料の保存と利用に関する予備的研究五十七年度二〇万円助成
			宮島貞光氏より宮島清関係資料調査の為『向陵時報』借用
五十八	一	一	総合図書館教官用閲覧個室計測調査
			アルバム「東京帝国大学明治三十三年」ほか四冊の各写真のカード化を終了
			アーカイヴズ研究会開催（二月）
			小関清氏より山川健次郎元総長の表装済書簡寄贈

年	月	日	記事
昭和五十八	二	二	旧職員井口貞寛氏より『大型計算機センター設置に至る経緯について』（四十年八月）の複写を拝領
			元史料編纂所長彌永貞三氏より改革委員会資料等受領
			総合図書館地下保存書庫見学、資料引取り
			憲政記念館「西公園寺公望と原敬特別展」見学
			工学部事務部保存書庫見学
			清水文彦氏を訪問、「長与又郎日記」の件
			学生部旧蔵ピアノ修理費用等につき調査
			渡辺洪基東京大学関係文書を調査
			国会図書館憲政資料室にて森有礼、渡辺洪基、品川弥二郎、阪谷芳郎各文書の調査
			『滝川事件五十周年の集い』に参加
			「大講堂利用計画懇談会」諸氏、見学のため来室
			国立歴史民俗博物館見学
			国立教育研究所の戦後教育改革関係資料を調査
			秋吉英敏氏所蔵明治二十七年卒業証書写真撮影
			学内共同研究『東京大学関係諸資料の保存と利用に関する予備的研究』および『同・附属資料』刊行、提出
			簿冊「備外国人教師講師名簿明治二年（昭和二年）の複写及び人名による検索手段作成
			寺崎室長、SAA年次総会に出席、同時にミネソタ、シカゴ両大学文書館訪問
			史料編纂所「第二十七回史料展覧会」見学
			小池行松関係文書のカード目録作成
			法学部研究室「占領体制研究会」資料閲覧
			国立歴史民俗博物館見学

年	月	日	記 事
昭和五十九	十二	一	国会図書館にて蕃書調所、開成所の校印調査 外山高志氏（正一遺族）訪問、写真三葉借用、複写
	十二	一	元総長林健太郎氏より今井登志喜「大内事件に関する資料」寄贈
	十二	一	教育部より「矢内原文庫」（ロッカー五本分）を受け入れ
	三	一	庶務部庶務課課長補佐清水洋美氏を囲み大学図書館について懇談会を開催
	四	一	外山高志氏、佐藤ひさ氏、加藤貞氏、水野政一氏、大久保利謙氏訪問（五月まで）
	四	一	農学部にて同学部本郷移転問題関係資料調査
	四	一	国立公文書館で、昭和十二〜二十五年の『公文類集』の東京大学関係資料を調査、複写
	五	一	庶務部学務課にて学位授与数につき調査
	五	一	東京大学懐徳館見学に参加
	五	一	国立公文書館展示会「鎖国時代の異國事情展」見学
	六	一	学内販売店金星堂から東京大学関係の写真借用
	九	一	庶務部資料のうち図書館保存書庫収納の刊本等約三〇箱を受け入れ
	十一	一	国立歴史民俗博物館見学
六十	二	一	菊池綾子氏より聞取り（大籠遺族）
	三	一	理学部助教小堀巖氏より大学紛争関係の資料寄贈
	三	一	憲政記念館「昭和初期の政党政治と四人宰相特別展」見学
	三	一	彌永貞三氏旧蔵改革委員会資料の整理目録作成終了
	三	二十六	東京大学史料センターの件につき平野総長と会見
	四	一	元学生部長加藤橋夫氏より聞き取り

年	月	日	記 事
昭和六十	五	一	名譽教授若林勲氏より橋田邦彦先生旧蔵図書について聞き取り
	五	一	横浜開港資料館見学
	六	一	理学部名譽教授藤井隆氏より紛争関係文書寄託
	七	一	元総長加藤一郎氏の文書第二次分の寄託
	七	一	兵庫県公館見学
	七	一	農学部および工学部にて工部美術学校旧蔵資料の所在調査
	八	一	大学紛争関係ピラ五箱を図書館専門員矢島秀夫氏より寄託
	十	一	国立公文書館「内閣制度創始百周年記念貴重国政資料展」見学
	十一	一	国会図書館憲政資料室より小橋一太筆記講義ノート寄託（五箱分）
	十二	二十七	国文学研究資料館史料館書庫見学
六十一	一	十八	黒川真頼遺族黒川淳子氏訪問、黒川真頼関係文書の寄託をうける
	三	一	国立公文書館所蔵岩倉具視関係文書調査
	三	一	文部省図書室にて『全国大学一覽』および『昭和二十四年新制第一回募集要項』につき調査
	三	一	神奈川県立文化資料館書庫見学
	五	一	東洋大学百年史編纂室関係者来室
	五	一	国立歴史民俗博物館見学
	六	一	国立公文書館「内閣文庫展示会古書に見る植物・動物たちの江戸時代」見学
	六	一	群馬県立文書館書庫見学
	七	一	辻新次文書調査開始（十一月）
	七	一	田代基徳遺族調査（十月まで）
	七	一	国立公文書館所蔵東京大学関係資料補足調査百年史編纂室所蔵の井上毅文書（複写）目録完成・担当米田俊彦

年	月	日	記	事
昭和六十一	七	一	坪井九馬三文書整理着手	
	八	五	今泉茂松の卒業証書および式次第の寄託をうける	
	八	十五	東京都公文書館書庫見学	
	八	十八	国立公文書館見学	
	八	十九	大阪府公文書館書庫見学	
	八	二十一	埼玉県立文書館書庫見学	
	八	二十二	栃木県立文書館書庫見学	
	九	二十六	藤田清次氏より『東京大学学術大観』につき聞き取り	
	十	一	教養学部アメリカ研究資料センター所蔵高木八尺旧蔵資料中東大関係史料の調査(十二月)	
	十	一	経団連図書館「社史・経済団体史展」見学	
	十	一	中央大学大学史編纂課長大矢章夫氏来室	
	十	一	国立公文書館「天皇陛下御在位六十年記念貴重公文書展」見学	
	十	一	史料編纂所展示会見学	
	十	一	埼玉県立文書館「八王子城主北条氏昭文書展」見学	
	十	一	東京都貿易産業センター「文書情報処理システム展」見学	
	十	一	国立公文書館館長菅野弘夫氏、同公文書課長小林蒼海氏史料見学のため来室	
	十	一	明治大学歴史編纂資料室及び専修大学年史資料課関係者来室書庫見学	

七、『東京大学百年史』資料一～三収録資料出典総覧

(各資料の番号は、本文見出しの「」で括った数字と対応する。所蔵機関名は原文書についてのみ記載)

- 一 太政類典 国立公文書館所蔵
- 二 公文類聚 同前
- 三 公文録 同前
- 四 枢密院文書 同前
- 五 官報 同前
- 六 法令全書 同前
- 七 文部省往復 東京大学事務局所蔵
- 八 文部大臣准允 同前
- 九 検印録 同前
- 一〇 東京開成学校一覽 同前
- 一一 東京大学法理文学部一覽 同前
- 一二 東京大学医学部一覽 同前
- 一三 帝国大学一覽 同前
- 一四 東京帝国大学一覽、同要覽 同前
- 一五 大学南校起源規則 国立公文書館所蔵
- 一六 大学東校起源規則 同前
- 一七 南校一覽 同前
- 一八 東京大学法理文学部年報 東京大学附属図書館所蔵「五十年史料」
- 一九 東京大学年報 同前
- 二〇 帝国大学年報・東京帝国大学年報 同前
- 二一 評議会記録 東京大学事務局所蔵
- 二二 学内諸規則〔庶務課法規掛所管〕 同前
- 二三 学内諸規則〔学務課学務掛所管〕 同前
- 二四 文部省達 同前
- 二五 重要書類彙集 自明治十二年 同前
至明治二十四年

- 三六 秘書附緊要書類 同前
- 三七 秘書(官制改正) 同前
- 三八 東京大學設置認可申請書類 同前
- 三九 新制大学院実施準備委員会記録 同前
- 四〇 学芸志林(東京大學法理文學部編 明治十年創刊 月刊) 同前
- 四一 学士会月報 同前
- 四二 明治十九年規程類 工科大学舎監事務室
- 四三 東京大學工学部事務部所藏
- 四四 代紳 東京大學附屬図書館所藏「五十年史料」
- 四五 東京帝國大學規則 國立公文書館所藏
- 四六 例規 東京大學事務部所藏
- 四七 例規類集 第一高等中學校 東京大學教養学部事務部所藏
- 四八 祝辭式辭 自明治四十二年 東京大學事務部所藏
- 四九 帝國大學新聞 東京大學事務部所藏
- 五〇 總長演述 東京大學事務部所藏
- 五一 南原總長演述 東京大學事務部所藏
- 五二 學内広報(東京大學広報委員會編 昭和四十三年十月四日創刊) 昭和三十二年十月四日創刊
- 五三 伊藤博文公編「秘書編纂」稿本 宮内庁書陵部所藏
- 五四 帝國大學令制定に關する木場貞長氏の追憶談筆記 東京大學百年史編集室所藏
- 五五 梧桐文庫文書 国学院大學附屬図書館所藏
- 五六 臨時教育會議答申 東京大學事務部所藏
- 五七 大學制度臨時審查委員會記録 同前
- 五八 大學問題關係書 同前
- 五九 元總長内田祥三關係文書 同前
- 六〇 小田又藏翻譯御用に關する書類 「江戸」
- 六一 審書調所立合御用留 東京大學史料編纂所所藏
- 六二 開成所事務 同前
- 六三 統德川実記 同前
- 六四 徳川禁令考 同前
- 六五 大日本古文書 幕末外交關係文書
- 六六 江戸種痘所始末「中外医事新報」 同前
- 六七 伊東玄朴伝 伊東築著
- 六八 箕作阮甫 吳秀三著
- 六九 東京大學医学部百年史
- 七〇 伝研案内
- 七一 文部省年報
- 七二 勸農局沿革録
- 七三 駒場農學校等史料(安藤圓秀編 昭和四十一年)
- 七四 法規分類大全
- 七五 古在由直博士 安藤圓秀編
- 七六 文部大臣達 東京大學事務部所藏
- 七七 明治三年諸規則 東京大學医学部医学史料研究室所藏
- 七八 本省檢印簿 明治七年五月ヨリ 東京大學附屬図書館所藏「五十年史料」
- 七九 學事願伺届達回答明治八年中
- 八〇 本省諸學來翰明治十年一月ヨリ十二月マテ
- 八一 含要類纂
- 八二 照準書 明治十年七月ヨリ
- 八三 規則留明治二年十一月
- 八四 章程 明治七年六月ヨリ
- 八五 本省達明治十一年中
- 八六 文部省達明治十三年中
- 八七 學生生徒卒業之件 明治十一年三月ヨリ
- 八八 事務局長通知 同前
- 八九 學生交流 東京大學事務部所藏
- 九〇 近代日本教育制度史料 第二十六卷 同前
- 九一 大學資料

- 一〇一 東京大学広報委員会「資料」
 (東大問題資料2 東京大学出版会 昭和四十四年刊)
- 一〇二 運動会報
- 一〇三 学寮十五年史
- 一〇四 学生便覧
- 一〇五 練成関係綴
- 一〇六 伺書類綴
- 一〇七 諸祝日式典関係 自昭和十八年度
 至同二十三年度
- 一〇八 卒業授与式関係 自明治二十二年
 自明治二十四年
 自昭和二十八年
 自昭和三十一年度
- 一〇九 卒業式式典関係 自昭和二十八年
 自昭和三十一年度
- 一一〇 大学院及入学許可者宣誓関係 自明治二十二年
 自昭和二十六年
 自昭和三十一年
- 一一一 入学宣誓式関係 自昭和二十六年
 自昭和三十一年
- 一一二 入学式式典関係 昭和二十八年—四十五年
- 一一三 東京帝国大学記念日関係 自大正十三年
 自昭和十六年
- 一一四 開業式書類 明治十二年五月 東京大学附属図書館所蔵「五十年史料」
- 一一五 東京大学医学部書類 明治十二年 東京大学医学部事務局所蔵
- 一一六 行幸関係 昭和十五年 東京大学事務局所蔵
- 一一七 旧工部大学校史料 同前
- 一一八 東京帝国大学五十年史(東京帝国大学 昭和七年) 海後宗臣氏所蔵
- 一一九 東京大学教育制度研究委員会記録 東京大学事務局所蔵
- 一二〇 新大学制実施準備委員会記録 同前
- 一二一 大学制度調査委員会記録 同前
- 一二二 大学院実施準備委員会記録 同前
- 一二三 大学制度審議会記録 同前
- 一二四 大学図書館の近代化をめざして 第二集(東京大学附属図書館改善記念
 論集Ⅱ 東京大学附属図書館 昭和三十九年)
- 一二五 総合計画委員会記録 東京大学事務局所蔵
- 一二六 「七学部代表団との確認書」の解説(東京大学 昭和四十四年)
- 一二七 「東京大学当局と東京大学職員組合との確認書」の解説(東京大学 昭和四十四年)
- 一二八 「大学改革準備調査会第一次報告書」(東京大学 昭和四十四年)
- 一二九 大学改革準備調査会管理組織専門委員会報告書
- 一三〇 東京大学と国および社会との関係(昭和四十五年)
- 一三一 大学改革準備調査会研究教育組織専門委員会報告書
- 一三二 新しい総合大学を求めて(昭和四十五年)
- 一三三 改革フォーラム(東京大学広報委員会編 昭和四十四年十二月十五日創刊 月一〜二回刊)
- 一三四 東京大学規則集
- 一三五 東京大学一覽・同要覽
- 一三六 核研二十年史(東京大学原子核研究所 昭和五十三年)
- 一三七 東京大学予備門諸規則・同一覽本覽
- 一三八 大学院便覧
- 一三九 東京大学事務局記録 東京大学事務局所蔵
- 一四〇 (司法省)法学校正規科一覽・同速成科一覽(司法省書記局・学務課 明治十七年)
- 一四一 駒場農学校東京農林学校規則 東京大学附属図書館所蔵「五十年史料」
- 一四二 第一高等学校六十年史(第一高等学校 昭和十四年)
- 一四三 普及講座関係記録(庶務部学務課所管) 東京大学事務局所蔵
- 一四四 公開講座関係記録(庶務部学務課所管) 同前
- 一四五 工部大学校学課並諸規則
- 一四六 東京開成学校年報
- 一四七 東京大学医学部年報
- 一四八 文部省職員録
- 一四九 東京大学職員録
- 一五〇 例規類聚 文部大臣官房会計課編
- 一五一 学位原簿 東京大学事務局所蔵

- 二三 坪井九馬三文書
- 二四 大日本帝国議会議誌 第六卷
- 二五 明治文化資料叢書 第八卷 教育篇
- 二六 教養学部三十年
- 二七 全国大学一覽
- 二八 東京大学の概要 東京大学庶務部学務課編
- 二九 学校基本調査(統計) 東京大学事務局所蔵
- 三〇 創立百年記念事業関係記録 同前
- 三一 東京帝国大学学術大観(東京帝国大学 昭和十七年)
- 三二 日本の図書館 日本図書館協会編
- 三三 大学図書館実態調査
- 三四 司法省報告・同年報